

R1.10.4 心のケア研修会 アンケート集計結果

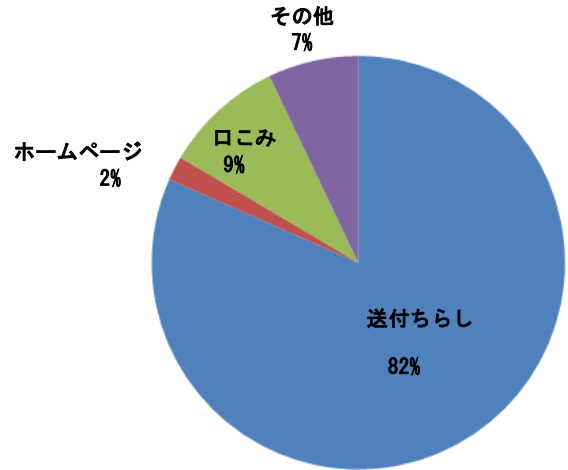
「子どもの様々な個性を大切に ～ひといちばい敏感な子ども（HSC）への理解と対応～」

講師：真生会富山病院 心療内科部長 明橋大二先生

参加者：282名、アンケート回収者212名（アンケート回収率 75.2%）

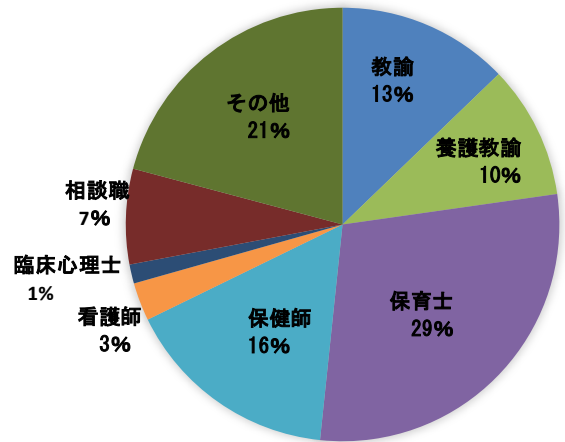
1 本日の講演会は、何でお知りになりましたか？

送付チラシ	173
ホームページ	4
口コミ	20
その他（職場等）	15



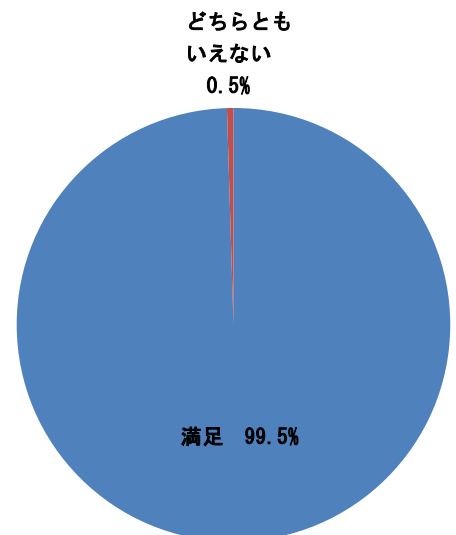
2 ご職業を教えてください。

教諭	27
幼稚園	5
小学校	13
高校	2
特別支援学校	1
大学	3
不明	3
養護教諭	21
保育士	61
保健師	34
看護師	6
臨床心理士	3
相談職	15
その他 (子育て支援センター指導員、 NPO 職員、児童支援員等)	44



3 本日の講演会はいかがでしたか？

満足	207
どちらともいえない	1
不満足	0



4 ご感想を教えてください。

- 3番目の我が子がHSCかな、と思える所があり、育てております。又、仕事からHSCに近い姿の見られる、お子さんの親と話をする機会もあり、対応の仕方など参考にしたいと思いました。保護者の自己肯定感を作れるようにしていきたいと思いました。(幼稚園教員)
- 教育に携わる中で、色々な子の個性を大切にしていこうと改めて思いました。HSCについても具体的な例が多くあり、とても分かりやすかったです！ありがとうございました！（幼稚園教員）
- いろいろな子が自分らしく生きていける環境づくりを一層していきたいと感じました。(幼稚園教員)
- もう少し踏み込んだ実際の対応策も知りたかった。HSCの個性を知ることができました。ありがとうございました。(幼稚園教員)
- 現在悩みをかかえている子の保護者とかかわっていたので、とても参考になりました。たくさんお母さんのがんばりをみとめてあげたいと思いました。(幼稚園教員)
- あたたかい語り口で、支援者としても、子育ての保護者としても勉強になりました。(小学校教員)
- 学級の中で、様々な個性のある子どもたちがいますが、今回教えていただいたことは、HSCの子だけでなく、全ての子に必要なことであるという最後の内容が、とても心に残りました。(小学校教員)
- イラスト(具体例)がついていることで分かりやすかった。(小学校教員)
- 子どもの自己肯定感を育てるのに、親の自己肯定感を育てることが大切であるということが、再認識できました。支援者として大切にしていけるべきことを学ぶことができました。(小学校教員)
- より具体的な内容で参考になりました。(小学校教員)
- 昨年に引き続き参加させていただきました。2年連続して心に残ったのはやはり「自己肯定感」。自己肯定感を育む具体的な接し方をお話いただき、すぐに実践にうつしてみました。時間はかかっても子どもが変わっていくのが分かりました。リフレーミング、早速実践してみます。(小学校教員)
- 小学校で特別支援コーディネーターをしているため、教育相談を年に100回くらい行っています。その中で、母親から子育てのことについて相談されることが多いので、今回の明橋先生の話がとても参考になりました。前よりも、よいアドバイスができそうです。(小学校教員)
- 以前から著書を読んでいたもので、直接お話を聞けて大変嬉しく思います。ありがとうございました。(高校教員)
- 自分の職場では自己肯定感を高めるために、全体で取り組もうとしていますが、実際のところ具体性がないところでした。今日のお話で、スモールステップでより理解や知識を含め、子どもたちに返していきたいと思っています。ありがとうございました。(高校教員)
- 先生の本「子育てハッピーアドバイス」を、自分が子育てをする時に悩んでいた時に支えになってもらいました。本当に感謝しています。「まあ、いいじゃん」の話で肩に力を入れ

ないことですごく楽になりました。今日お会いできて、ものすごく嬉しいです!! ☆子供たちも、ハッピーアドバイスをよく読んでました。(高校教員)

- 分かりやすかった。(大学教員)
- 新たな考えに触れられました。ありがとうございます。(大学教員)
- ゆっくり話していただきありがとうございます。私自身もいろいろ悩み苦しんできました。カウンセラーの学びを20年以上続ける中で先生の本に出逢いました。それで、申し込みました。自分の育ちについて振り返りました。自分もHSCだったのではないかと思いました。(教員)
- 気になる子どもの中にHSCかと思われる子がいて、どのように捉え接していけばいいのか、よいヒントを得た。(教員)
- HSCの子どもに必要な支援は、実は全ての子どもに必要な支援である、という言葉にハッとさせられました。教員という仕事に長年携わってきて、1番大切なことだったんだ、と改めて初心にかえって、子どもたちに向き合っていきたいと思いました。(教員)
- 持って生まれた性格、個性を持った子どもに対する接し方が理解できました。デリケートな心を持つ子どもを上手に育ていけるように心がけたいと思いました。(養護教諭)
- HSCの特徴について、大変わかりやすく説明していただいた。スライドも見やすく、わかりやすかった。チェックリストの項目も気になるので、くわしく見てみたいと思った。(養護教諭)
- 分かりやすい資料で参考になりました。(養護教諭)
- 話しを聞いて職場での様々な子どもたちの姿が思い浮かびました。今後、今日学んだ視点も大切にしながら関わっていきたいと感じました。(養護教諭)
- HSCと思われる子どもを思い浮かべながらお話を聞きました。本人の苦しさを理解できましたし、関わり方のヒントがたくさんありました。ありがとうございます。「子育てハッピーアドバイス」は自分も親として読ませて頂きました。「HSCの子育てハッピーアドバイス」も読みたいと思います。(養護教諭)
- 学校には、発達障害の子、グレーゾーンの子に個別に支援していくことが求められていますが、グレーゾーンと言われる子たちへの対応に悩むことが多々あります。HSC、HSPについて、まだまだ理解が広がっていないと感じていたので、学校で知識や情報を共有したいと思いました。(養護教諭)
- 子どもの自己肯定感を育てるためには、大人に心の余裕がなければならないと思いました。日々の忙しさで自分自身がイライラしていたり、落ちつかないと強い口調で叱ってしまうことがあります。心に余裕をもっていいところを見つけてあげようと思いました。(養護教諭)
- 実際に対応している生徒を思い出しながら聞きました。絵もあり、とてもわかりやすかったです。HSCについて、対応に迷いを感じていたこともありましたが、今日の話を出して、受け止める、スモールステップ、自己肯定感を心がけ頑張りたいと思います。(養護教諭)
- 今回初めてHSCについての研修会に参加しました。新しい気づきがたくさんありました。養護教諭として働く中で、これから先このような子どもたちと関わることもあると思いま

す。そのときには自己肯定感を高められるよう長所もだめなところも受け入れて対応していきたいです。(養護教諭)

- HSCについて、詳しく学ぶ初めての機会でした。普段接している児童に当てはまると感じる例も多く、校内でもHSCについて理解を広めたいと思いました。とても貴重な機会をありがとうございました。(養護教諭)
- HSCかな。と思う児童とかかわっているのも、まず、HSCについて自分自身の知識、理解を深めることができ、その子への支援、対応についてたくさんのヒントをいただきました。現在小6なので、中学校への引き継ぎ、本人や保護者への働きかけ等、できることをしっかり行いながら、自己肯定感を高めていきたいです。(養護教諭)
- 明橋先生のハッピー子育ての本はとても共感がき、親御さんにも紹介させてもらっています。保護者にほめ言葉のシャワーをたくさん伝えるとお母さんも安心して子どもにも変化がでてくるのを経験してきました。今日も先生のお話から支援者としてぶれずに関わりたいと改めて思いました。ありがとうございました。(養護教諭)
- いつも子ども支援のバックには親の支援・・・という見方でかかわろうと意識していますが、改めて子育て支援＝親支援の重要性を再認識すると共に自分自身の支援（自己肯定感の安定）リフレーミングを意識することが大事だなあと感じます。(支援者が安定しないと、親支援が難しくなるので・・・)全ての土台は自己肯定感！！まさにその通りだと感じます！（養護教諭）
- HSCの理解が深まりました。私自身がHSCかもしれないなと思いつつお話を聞きました。今日のお話を聞いて、どの子に対しても自己肯定感を高めるような働きかけをしていけばいいのだと思ったので。学校での対応にいかしていきたいと思います。保護者へもほめ言葉のシャワーを浴びせられるよう心がけていこうと思います。(養護教諭)
- HSCという言葉(?)を初めて聞きましたが、なるほどなあと思いました。「いるいる」って感じでした。「HSCの子に必要な支援は、すべての子に必要なこと」という思いで、子育て(支援)をしていきたいと思いました。(養護教諭)
- 今回初めて先生の講演に参加させていただき、前から”HSC”という言葉が気になっていましたので、大変勉強になりました。自身もですが、3人の子どももそういうHSC、HSPの特性があるのかなあ、と感じていたのも、子どもに対する関わり方に困ってしまう事も時々ありました。集団生活なので他の子と違っていたり、変化に弱かったりという部分が多かったのですが、その特性を認めて、自己肯定感を高めていこうと思いました。(保育士)
- 自己肯定感の大切さを改めて感じる事ができた。(保育士)
- 自己肯定感について、深く考えさせられました。モンスターペアレンツは、自己肯定感が高いと勘違いしていましたが自分の気持ちを我慢出来ず不満ばかり言って自分や子どもを肯定できないということを知り、対応法として親を少しでも褒めるということも教えて頂いたのも勉強になりました。(保育士)
- 現在、担任をしている子どもの中にもあてはまる子がいるように感じたので、関わり方に気をつけていきたいと思いました。自分の保育のやり方に悩んでいたのも、大変勉強になりました。(保育士)
- とても勉強になりました。自分の周りでも手の掛からない子どもが多くいます。そのよう

な子どもたちを別の視点で見ることができそうです。今日はありがとうございました。(保育士)

- 0才からその子自身に自我があることを認め、人として扱っていかなければならないと思った。(保育士)
- 毎回わかり易いお話しでの先生の講話はとても参考になります。施設では、ハッピーアドバイスを全て揃えて皆で見えており、母達も子育てのヒントになっているようです。また来年もお話しを伺いたいです。本日は大変ありがとうございました。(保育士)
- イラストつきの講義で、とても分かりやすく、聞きやすかった。保育士としても、親としても子どもとのかかわり方の参考になった。いろいろなタイプの子どもに対してのかかわり方について考える時間となった。(保育士)
- とても分かりやすく教えて頂き、ありがとうございました。HSCは初めて知りましたが、そのような子もいるのでこれからは参考にしてかかわっていきたいと思いました。マンガ入りの資料が良かったです。(保育士)
- とても良い話をお聞きすることが出来、保育に対しての再確認をすることが出来ました。ありがとうございました。(保育士)
- ”HSC”という単語が聞いたことがなかったが、お話しを聞いてこんな子・人近くにいる、自分にも当てはまることもあると分かり、身近に感じることができました。自分の保育所にいる子で少し気になったら、HSCで調べてみて、自己肯定感を育てていけるよう工夫していけたらいいなと思いました。ありがとうございました。(保育士)
- 22才になる娘がHSCだった？と感じていました。もっと早く知っていれば……。保育士なので、仕事で応用していきたいと思います。(保育士)
- 前職場に、HSCかな～？という子がいて、本を読みました。すごくホッとしたというか、なんで？なぜ？というのがなくなり、関わりが楽になりました。HSCの子どもも、関わる方も生きやすい社会になればいいなと思います。(保育士)
- HSC…はじめて知りました。とても良い勉強になりました。職場でしっかり伝えたいと思います。(保育士)
- 子育てで悩んでいる時、発達障害をうたがって調べていたら、このHSCを知りました。それを知って本当に心のモヤモヤがすっと晴れていきました。特性を知ることによって安心できる子ども、大人がこれからもたくさん増えていくといいなと思っています。(保育士)
- 我が子が不登校気味で悩んでいたこともあり参加させていただきました。自分の対応が甘やかしすぎなのか不安だったりもしたのですが、先生のお話を聞いて心が軽くなりました。(保育士)
- 著書を何冊か読んでおりましたので、大変心にとまりました。不登校の子の多くが、このHSCに当てはまるのではと思います。先生、親ももちろんなのですが、まわりの子どもとの関わりあいに工夫が相当必要なのかな…とも思いました。(保育士)
- HSCというのは特別ではなく、すべての子に共通する支援であるということをお話を聞いてとても勉強になった。(保育士)
- 他とちがう過剰な反応をする子、よく考えると病気とまではいえませんが、でも…と思える子を多く処遇していく中でストーンと考える事ができました。でもまだまだモヤモヤした

考えもありますが、とてもよかったです（保育士）。

- 明橋先生の著書を読んで、是非、聴講したいと思っていました。とても良かったです。（保育士）
- 園にも1クラスに2～3名程はHSCかな？と感じる子がいます。日々の忙しい活動の中で今回先生のお話をきいて、言葉かけをこれから意識して、ほめて共感していくように接していきたいと思いました。大変参考になりました。ありがとうございました。（保育士）
- HSCについてしる事がすべての子に必要な事を知ることになる、とてもすばらしい講演会でした。日頃の保育に生かしていきます。（保育士）
- クラスにHSCの傾向があるのでは？という子がおり、給食をはじめ、食べ物のこだわりが強く、食べられるものが白米と特定のものしか食べられなかったり、困り感を発信できないなどの特徴があるので、今回、HSCについて、書籍だけでは理解できなかった部分まで具体的に学ぶことができ、とても参考になりました。小学校への進学に向けても連携が必要なので、今回の研修を参考に、その子についての連携を図っていききたいと思います。ありがとうございました。（保育士）
- HSCに一致すると言いきれるわけではありませんが、クラスの子どもの中でも今回の資料にあったような反応や姿を見せる子どもがいます。その為、明橋先生の講話を聞き、その子どもや保護者への声掛けや関わり方のアドバイスをもらえたように感じます。今日の講話を参考にこれからの保育に活かしていければとおもいます。本日はありがとうございました。（保育士）
- クラスの子との、かかわり方、保護者への声のかけ方等、参考になることばかりでした。できることも多く手のかからない子なのに、強く不安を示したり、大人びたことを言う姿が気になる子がいて、どうしてなんだろう？と思い困っていました。HSCに当てはまる子どもいたので、今回の研修の内容を保育に活かしていきたいと思います。また、今回の研修を通し、「自分も当てはまるな」と感じました。この性格を直さなければ！と神経質になっていたのが、うまれもつての性格、直す必要はないと知り安心しました。自分に向き合って、すごしていきたいです。（保育士）
- HSCというものを初めて聞くことができました。子供への関わり方のヒントとなりました。これからの保育に生かしていきたいと思います。（保育士）
- HSCについてよく理解できました。先日のNHKでの番組を見てとても関心があったので、大変勉強になりました。（保育士）
- 我が子にも当てはまることが多くとても勉強になりました。自己肯定感を育んで行く事を意識し、今日学んだことをすぐに仕事、子育てに活かしたいと思います。ありがとうございました。（保育士）
- HSCの人の割合が5人に1人いるということに驚きました。HSCの子が生活しやすい環境を作ることがそうでない子も生活しやすい環境になることが分かったので、この講演の内容を心に刻みながら子どもたちと向き合っていけたらいいなと思いました。（保育士）
- HSCのことはしっていましたが、親の肯定感を高めることが必要であるというのを知りました。自分も子どもHSPなので参考にさせていただきます（保育士）。
- HSCについて初めてお話を聞くことができ、よかったです。色々な子どもの特性に寄り添

って保育にあったっているつもりでしたが、まだまだ共感不足、対応不足なところがあると
感じ、反省しました。(保育士)

- 自己肯定感の育て方の大切さを改めて感じました。今後、今日のおはなしをよく生かして
励みたいと思います。ありがとうございました。(保育士)
- 資料がイラストだったり、いろいろなものにとえたり、とてもわかりやすいお話で、頭にも
心にもスーッと入ってきました。本当にありがとうございました。(保育士)
- HSCを知ることで理解を深めることができました。(保育士)
- イラストがあり、HSCを理解しやすかった。(保育士)
- お話を聞いて、保育所で対応に困っている子どもの姿がうかびました。その子はもしかし
たらHSCなのではないかと思いました。(保育士)
- 昨年、先生の本に出会い、これまで関わりの難しかった子にあてはまり、理解するため
とても学びとなりました。そして実際に講演をしていただき、その機会をつくっていただ
き、とても嬉しかったです。ありがとうございました。(保育士)
- とてもわかりやすく説明いただけました。自分の子育て、保育にもいかしていきたく
いす。HSC、初めて耳にしましたが、いるかもしれない、あっ、あの子はそうだったの？と思
えました。(保育士)
- ・自分の子どもは未就学児であるが、小学校に通い始めた時にも十分役立てられそうな内
容だった。・一人の母親として、職場の保育士として、子どもやその保護者に対して自分も
もっとできることがあると気付かされた。(保育士)
- HSCとは障害をもつ子だと思っていたため、どういった子なのか理解できて良かった。ま
た自己肯定感の大切さを改めて感じた。子ども一人ひとりの特性を理解し、保育に生かして
いきたい。(保育士)
- 「自己肯定感」を高めることがいかに大切なのか再認識しました。(保育士)
- HSC・HSPの本を最近読んだばかりだったため、とても興味深い内容でした。子どもだけ
でなく、大人の自己肯定感についても触れていたため、今回学んだことを広く活用できそう
です。性格ということで、見極めが難しそうですが、知識として携えておきたいです。(保
健師)(保健師)
- ひといちばい敏感な子、私自身もひといちばい敏感な人のところがあると思いました。自
己肯定感を持てるか持てないかで子どもの育ちは変わってくると思います。子どもでも大人
でも良い面を見てかかわれるよう、社会全体でそうになっていくといいなーと思います。
- リフレーミングを子育て支援に役立てていきたいと思います。(保健師)
- HSCについて理解を深めることができました。自己肯定感を育てることの大切さを改めて
感じました。(保健師)
- 子ども支援、親支援には自己肯定感を高めることが大切と感じました。あわせて私たち支
援者自身の自己肯定感も大事だと思った。(保健師)
- 子どもへの支援だけでなく親支援にも、自己肯定感を高められるようにかかわっていきた
いと思いました。(保健師)
- 仕事の中で、思い当たるところが沢山ありました。本人も親も、生きづらさや、何かちょ
っと違う違和感がわかるだけで、だいぶ救われるのではないかと思いました。自己肯定感の

部分で、今よく着目され、ほめる事はだいぶ知られていますが、マイナス・ネガティブな部分も含め丸ごと受け入れる、というのは大事だけど、なかなか浸透してないと思います。ぜひ、いろんな場面で伝えていきたいと思います。(保健師)

- HSC への関わりについて、とてもよく分かりました。自己肯定感を育む関わりは、どの子どもにとっても大事であると改めて感じたため、今後の活動に活かしていきたいです。(保健師)
- とてもわかりやすく丁寧な話し方だった。よくない言い方、言い方と具体例があったので、よかった。(保健師)
- HSC という言葉を初めて知りました。発達障害といえないがとても繊細で気になる子の存在について「なるほど!!」と合点がいった感じがしました。支援の切り口になる強く感じました。ありがとうございました。(保健師)
- HSC について初めて講話をききました。多くの学びがありました。(保健師)
- HSC という言葉を初めて聞きました。詳しく HSC の特徴を学べ、自己肯定感をもちることが大切だと知ることができました。(保健師)
- とても関心の高いテーマであり、勉強になりました。より深く学びたいくなりました。(保健師)
- HSC についてとても考えさせられました。震災後の学校環境では、先生も、子どもたちもストレスfulな状況で HSC の子どもたちの生きづらさが強くなっていると感じました。我が子の不登校もあり、医療では、社会不安症やうつとみられることも多いのかなと思いました。自己肯定感を高める支援を仕事でも活かしたいです。(保健師)
- 自己肯定感を育むことの大切さをあらためて実感しました。何度も聴きたい講演内容でした。(何度も聴くことで自身の子育ても振り返りながら頑張れる気がします!) ありがとうございました。(保健師)
- HSC の子に限らず、全ての子に必要な関わりを学ぶことができてよかった。保護者の自己肯定感を高める支援をしていく必要性を改めて感じた。(保健師)
- 自己肯定感の大切さを改めて学ぶことができた。(保健師)
- HSC 初めて耳にしたが、子どもの捉え方、見方が変わりました。知ることができて良かったです。育てにくい子→心配ない子と考えることでプラスに子育てできる母も多いのでは、と思い参考になりました。自己肯定感が土台だと改めて考えさせられた研修でした。日本にいと周りとは合わせないといけない考えがあるが、その個の個性・多様性が理解されていく世の中になれば良いと思いました。(保健師)
- 2歳の娘はイヤイヤ期もさほどなく…お話も上手で色々なことに気が付き教えてくれます。反面、すべり台やブランコ、保育園の合同保育の時間は苦手です。手のかからない良い子であるので、自分でも色々気をつけて見ていますが、今回のお話を聞いて自分の育児にもいかしていければと思いました。帰ってたくさんグーっと(娘が嫌な時もありますが(笑)) したくなりました。(保健師)
- ”HSC” という言葉は耳にしていたが、詳しい特性や支援のポイントを知ることができて良かった。敏感ゆえ、細かいところに気づくことができることが良さだと感じた。周りは、大人の指示より先に動けるので”良い子”として見過ごされてしまうと思ったので、”子

もが裏で敏感に受けとるが故、動いていること”を支援者として、周りに伝えていきたいと思った。(保健師)

- 具体的な症状やかかわり方を知れて勉強になりました。ありがとうございます。(保健師)
- わかりやすかった。ありがとうございます。(保健師)
- 親のかかわり方、子供の考え方、全部あわせてうけ入れること、大切なんだと思いました。(看護師)
- いつかは直接話しを聞きたいと思っていました。夢がかないました。自己肯定感、持つことの難しさを日々感じています。当事者がどうこうではなく周りの理解が大事だと思いました。(看護師)
- 自己肯定感は自分も低いと思っています。(育った環境も関係していると思いますが)親の自分、そして子供、自己肯定感を高められるように今日の学びを生かしていきたいです。とても参考になりました。(助産師)
- 本日は良く伝わるマンガイラスト付きの楽しい御講話をいただきまして有がとうございました。私自身の家族や生い立ち、友人等々を理解する大きなヒントをいただきました。これから、自己肯定感の深め方を自分なりに学んで行きます。又どこかで直接お話を聴ける事を願っています。(助産師)
- とても勉強になりました。教育にたずさわる人全員にきいてほしいです。(助産師)
- 明橋先生のハッピー子育ての本はだいぶ前に読み先生のお話を聞いてみたいと思っていました。今日は願いがかない、勉強になり、ハッピーな気持ちになりました。うちの孫も1人、HSCかな？と思う子が。娘にも本をすすめてみようと思います。(助産師)
- HSCというのを初めて知りました。我が家の子供も？！と思ったりしましたがHSCとかそうじゃなくても子への関わり大切さを学ぶことができました。肯定感のもてる子育てを私自身も気をつけて大切にしていきたいです。また、ほめことばのシャワー、すてきな言葉ですね。職業がら多くの人にも伝えていきたいです。(助産師)
- HSCについてくわしく知ることができました。ありがとうございます。(助産師)
- 特性など良く分かりました。HSPの人たちの対応や、自己理解についても聞いてみたいと思いました。親の自己肯定感の高め方についても、さらにくわしく聞けたらと思います。(臨床心理士)
- HSCの特徴がよくわかりました。(臨床心理士)
- とても勉強になりました。子育てハッピーアドバイス(本)は読んでおりましたが、直にお話を頂き、具体的に説明を頂けて、楽しく学べました。(相談職)
- 大変勉強になりました。改めて関わり方等見直したいと思います。(相談職)
- ・HSCの子はもっと特別な存在かと思っていましたが、身近な存在、特別でないことなんだと実感しました。・自分にも当てはまる部分もあるように感じましたし、自分に関わる方、子ども、大人問わず同じ体験をしている方もいらっしゃると思うので、頭に入れて関わっていければと思いました。(相談職：児童相談所)
- HSCについてとても分かりやすく学ぶことができました。自己肯定感を育てることの大切さを実感しました。ありがとうございます。(相談職)
- HSCの育て方、自己肯定感の育み方についてバリエーション豊かに示していただき、わか

りやすかったです。自分の子が HSC かもと思い、自分の子育てにも活かしたいと思いましたし、HSC の子育ては全ての子に共通と知り、励みになりました。ありがとうございました。(相談職)

- 本を読んで自分は HSC と思いきずらさを感じ治したいと言う方がいらっしゃいます。治すものではないという事がわかりました。良かったです。(精神保健福祉士)
- HSC を初めて知った。自己肯定感についてわかりやすく聞けたので良かったです。HSC についても知ることができ、これからの支援にやくだてたいです。イラストが多くわかりやすかった。(子育て支援拠点支援員)
- とてもわかりやすかったです。HSC (HSP)の人に対してだけでなく全ての人に対し、その人を尊重した話し方、共感、リフレーミングしていきたいと思いました。(子育て支援拠点事務員)
- 気になる子どもや親(養育者)さんがいたばあいに背景を考える視点が増えました。(性格・気質・特性との言い換えがそれぞれ違う意味を持っているので気になりました)(子育て支援業務)
- 本日はありがとうございました。HSC の子どもにとって大切な事は全ての子につながるという事がわかりました。一人の親としてもとても参考になりました。(20 年前くらい)早い時期に聞きたかったと思いました。(子育て支援センター指導員)
- 私も息子も HSP、HSC だと思います。納得できる内容でした。この思いを大切に、生活したいと思えますし、支援センターに来た親子へも、その思いを大切にしていきたいと思いました。(子育て支援センター指導員)
- 以前児童館に勤務していた時、敏感で、攻撃的な子の対応に苦戦したことを思い出し、ADHD の理解は広まってきているけれど HSC の事はまだ知られていない(自分も)色々な枠の中で子どもを理解してければ子どもも大人も(特に子どもにかかわる大人)お互いに過ごしやすくなると感じました。自分自身もあてはまる所もあり、あらためて1人1人いろんな特性を持っていることを大事にしたいと感じました。(子育て支援センター指導員)
- HSC について、あまりくわしくは理解していませんでした。今日明橋先生の話聞いてとても勉強になりました。自己肯定感の大切さも分かる事が出来ました。(子育て支援員(保育所勤務))
- 明橋先生のお話を聴けることを楽しみにしていました(昨年もお世話になりました)とても分かりやすく仕事(子育て)だけでなく生きるのが楽しくなる講話でした。ありがとうございました。日本か世界かこのような思いで生活できるのに…。(子育て支援センター指導員)
- 自分に当てはまるが多かった。特に変化が苦手で、なかなか新しい場所に入っていくことに不安を感じたり、人の顔色をうかがって思い込みで、苦手な人だと決めつけたり。実際、合わない人の方が多かったですが……。HSC、HSP のことを知ることができて良かったです。理解することで楽しみながら向き合っていけるとと思います。(これから子どもたちと触れ合う時に)(子育て支援センター指導員)
- とても分かりやすい内容でした。ありがとうございました。(生かして伸ばす、それぞれが役割がある。⊕も⊖も受け入れる、ベースを尊重する、人は人、うちのうち、key word です)

ね!!大切にいたします。)(合気道インストラクター)

- HSC が理解できた (保育サポーター)
- 子育ては終わりましたが自己肯定感の大切さがわかりました。(児童民生委員)
- 全ての子どもの自己肯定感を大切に・・・。生きやすい日々を送らせてあげたいと思いました。また、私の子どもにも当てはまる事が多く、ハッとしました。これからでもまだまだしっかりと自己肯定感の土台をしっかりと強くしてあげたいと思います。子そだて支援の仕事もお母さんたちをまず認めるといふ部分をより大切にしていきたいと思います。ありがとうございました。(子そだてひろばスタッフ)
- NHK の番組を見て、とても関心を持っていました。HSC の子 (人) の特性がよくわかりました。子育て支援は親の自己肯定感を高める、これに尽きるということばが印象に残りました。(行政職員)
- 事例やイラストがわかりやすく、HSC についてよくわかった。HSC を知ることで助かる子どもが多くいると感じ、親、とくに教員はしっかり知識を広げ、子どもに向き合う必要があると思った。(行政)
- ものすごく実りの多い時間となりました。特に自閉スペクトラムと HSC の違いがモヤモヤしていたので気持ちに気づくかそうでないかということを知れてよかったです。(託児)
- 改めて、子どもも大人も自己肯定感の大切さを学んだ。(東日本大震災子ども支援)
- HSC のお子さんが支援しているお子さんについて、偏食や保護者から聞くエピソードが、どうして (何が理由で) 苦手か、その子への理解につながりそうだと思います (特性、ということも知らなかったので勉強になりました) HSC である、なしにかかわらず、親子を見守る上で大切なポイントを再確認できました。(団体職員)
- HSC の子に対しての対応方法はもちろんですが、親としての反省や、改善していかなければいけないところにも気づき、今日から見直してみようと思いました。大きくなった子どもで遅くないという先生のお言葉に安心しました。(NPO職員)
- HSC のお話しを聴かせていただいて、自分自身も子ども達も HSC なのかなと思いました。長男を育てている時に周りとは違うことに悩んでいましたが、今日 HSC について聴かせていただいたので同じように悩んでいる方がいたらサポートできるようになりたいです。(NPO職員)
- とても分かりやすく理解しやすかった。自分の子供が HSC っぽいけど、でも外交的で、なんなんだろうと思っていただけ、HSS の内容にぴったり当てはまり「実は傷ついていたのかも」と思いました。そして自分自身も HSC からの HSP だと思うのです。色々な場面で人より敏感に感じてしまう自分につかれています。(NPO団体職員)
- 先生のやさしい語り口で、お話しを聞いたこと、とても良い時間でした。自己肯定感の大切さ、これまでその重要性は知っていましたが、じゃあ具体的にはどうしたらいいの?とそこで止まっていた。今日のお話で、具体的な方法や声かけの仕方を知ることが出来、よかったです。これからの支援活動にしっかりと活かしていきたいと思います。(NPO団体スタッフ)
- 自分の子どもも、そうでないか?と思う所が多くあり、本日講演を聞いて勉強になりましたし、「性格」ととらえる事ができました。ありがとうございました。(NPO職員)

- イラストにそってお話ししてくださり、とても分かりやすかったです。地方では、2世帯で生活していたり、祖父母が近くにいる家庭が多いです。園で親と意思疎通できて親が適した対応をしても、祖父母が理解がないことが課題だと感じています。(その他)
- どのような子であっても、まず自己肯定感に注目して、その子の状況やうったえたいことを理解できるよう努めたいと思います。(その他)
- 自己肯定感を育てることがいかに大切か理解できました。自分自身の自己肯定感も高めていきたいと思います。(その他)

5 今後、どのような内容の講演会をご希望されますか？

- 不登校だった子の、その後のこと、どんなことができるのか、など。そうした子どもさんをもつ親や教員等が聞くことで、今後の見通しや手だてなどが少しでも見えたらいいいのではないかと思います。(幼稚園教員)
- 発達障害に関する研修。セカンドステップのようなキレない子を育てる、つくるための研修(幼稚園教員)
- 大人の自己肯定感に、とても興味関心をもちました。それを高めることができれば、そんな会を希望します。(小学校教員)
- 学習障害に関する内容(小学校教員)
- もっと明橋先生から子育てや子育て支援についてお話をきいてみたいです。(小学校教員)
- ・子育てに関すること(子どもについて悩みを抱える親への支援)、・支援が必要な子どもと、その子への適切な支援の仕方(小学校教員)
- 初めて参加したけど、また明橋 Dr.のお話を聞かせて頂きたい。次回はもっと高年齢の(中・高・大学生)ケアについて。(大学教員)
- 大人(大学生)の自己肯定感を高めるには。(大学教員)
- 希望します。子育てアドバイザー受講してみたいと思います。(教員)
- 愛着障害のある子の理解について(教員)
- 子どものからだの変化(異変)とその原因や対策について(教員)
- 保護者の方への支援の仕方について、今後も講演を続けてほしいです。(養護教諭)
- 今後も支援者のためのケアを考えて講師の先生を選定していただき本当にありがとうございます。来年も楽しみにしています。(養護教諭)
- LGBT 認知が高まるような内容(養護教諭)
- HSCの子の具体的な対応(学校にはクラスに1人しか先生はいない)。クラスの中でどう対応すればいいのか。(他の子達とのかかわりの中で)をもっと知りたいです。(養護教諭)
- 気になる子や支援児への具体的な支援の仕方(保育士)
- 10の姿に沿った要録の書き方(年長～就学)(保育士)
- アスペルガー、ADHD、自閉症などのかかわり方(保育士)
- 気になる子の対応は来年も聞きたいと思いました。(保育士)
- 保育、子育て現場で活用できる具体的な方法(HSCについて)(保育士)
- ずっと明橋先生の本を読んでいて、話をききたいと思っており、やっとなんと、今回願

が叶いました。また明橋先生のお話をききたいです！！（保育士）

- 自己肯定感を育ててこなかった子に対しての大きくなった子へのとくに思春期に入った子への対応をおききたいと思いました。（保育士）
- こうした HSC のような講演をぜひききたい。（保育士）
- 希望する（保育士）
- どんな物でも、日頃の保育に生かしていけるもの（保育士）
- 子どもの心の育ちに必要なこと。（保育士）
- もっと HSC を勉強したいです。（保育士）
- 事例検討（保健師）
- 先生の思春期の本の講演（保健師）
- 自己肯定感の上手な育て方についてまた聞きたいです。（保健師）
- 自己肯定感、愛着障害（保健師）
- 今日のような研修会をききたいと思います。（保健師）
- 来年も明橋先生のお話しをききたいです。（看護師）
- 不登校や子供との関わりなど（看護師）
- 「心」の問題に「薬・クスリ」で対応する場面には、どの様な功罪があるのか等知りたいです。（助産師）
- また、明橋先生おねがいしまーす。（助産師）
- 愛着障害（臨床心理士）
- HSC の子どもが直面しやすい対人関係上の課題と対応（臨床心理士）
- 毎年素晴らしい先生を呼んでくださっていてありがたいです。今後も継続されるのでしょうか。（精神保健福祉士）
- 心が辛くなった時、心が折れそうになった時の対処法など。（子育て支援センター指導員）
- ”特性”を持っている子を持つ親へのアプローチ 全ての親が自分の子どもが”違う”という事を認めることができる方ばかりではないので…伝え方がむずかしい。（子育て支援センター指導員）
- 個性を大切に、の続きも聞きたいです。障がい支援の話にも興味があります。（子育て支援員(保育所勤務)）
- 発達にでこぼこがある子に効果的な体操、運動などのセミナーを希望します。（合気道インストラクター）
- 不登校に関する内容（ひきこもり）（行政）
- 自己肯定感の高め方の具体例を知りたい。（託児）
- 不登校になる子の前兆や、親ができることの講座（NPO職員）
- HSC や HSS、HSP をもっとくわしく聞きたいです。（NPO 団体職員）
- 愛着障害、子育てに悩む親への支援（NPO 団体スタッフ）
- 不登校・引きこもりの子どもたちへのアプローチの仕方（その他）